	イ　アナログ電話及び総合デジタル通信サービスの最繁時呼量に１接続１秒当たり音声パケット数を乗じ、メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ収容率及びメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ最大処理最繁時パケット数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。） ⑵　⑴のメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷユニット数にメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ冗長化係数を乗じたものを当該局の冗長化後メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷユニット数とする。 ⑶　⑴のメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷユニット数にメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ１ユニット当たり音声収容ルータ接続数及びメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ冗長化係数を乗じたものを当該局の冗長化後メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ１Ｇインタフェース数とする。 ⑷　⑴アのメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ100Ｍインタフェース数にメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ冗長化係数を乗じたものを当該局の冗長化後メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ100Ｍインタフェース数とする。 ２　投資額の算定 次の算定式により局ごとメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ投資額を算定する。 局ごとメタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ投資額 ＝冗長化後メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷユニット数×メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷユニット単価 ＋冗長化後メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ100Ｍインタフェース数×メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ100Ｍインタフェース単価 ＋冗長化後メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ１Ｇインタフェース数×メタル回線収容装置用Ｌ２ＳＷ１Ｇインタフェース単価
	イ　アナログ電話の最繁時呼量に１接続当たり音声パケット数を乗じ、音声収容装置用Ｌ２ＳＷポート収容率及び音声収容装置用Ｌ２ＳＷ最大処理最繁時呼量パケット数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。） ⑵　⑴の音声収容装置用Ｌ２ＳＷユニット数に音声収容装置用Ｌ２ＳＷ冗長化係数を乗じたものを当該局の冗長化後音声収容装置用Ｌ２ＳＷユニット数とする。 ３　投資額の算定 次の算定式により局ごと音声収容装置用Ｌ２ＳＷ投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、音声収容装置用Ｌ２ＳＷ投資額を算定する。 局ごと音声収容装置用Ｌ２ＳＷ投資額 ＝冗長化後音声収容装置用Ｌ２ＳＷユニット数×音声収容装置用Ｌ２ＳＷユニット単価
ＣＳ	１　ＣＳの設備量の算定 ⑴　中継区域ごとに、アナログ電話回線数を当該中継区域に属するコア局数で除したものを当該区域に属する局ごとＣＳ収容アナログ電話回線数とし、これをＣＳ収容率及びＣＳ１ユニット当たり最大処理回線数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）を当該区域に属する局ごとＣＳユニット数とする。 ⑵　⑴のＣＳユニット数に冗長化係数を乗じたものを当該区域に属する局ごと冗長化後ＣＳユニット数とする。